

現在 20 万人到達しているロータリーの女性会員も、1989 年に規定審議会で女性の入会が認められるようになりました。この決定には数十年に渡りロータリー世界で男女を問わず多くの人々が活動をしてきたことによります。

1950 年 RI 国際大会でインドのロータリークラブが標準クラブ定款から「男性」という言葉を削除するよう審議会に提案、1964 年規定審議会の議題にセイロン(現在スリランカ)のクラブから提案、代表議員はこれを否決、1972 年規定審議会へアメリカのクラブから提案があり、1978 年になって米国カリフォルニア州デュアルテ・クラブは三人の女性について入会を認め、このことにより、同クラブは国際ロータリーの加盟を取り消しました。(1986 年 9 月復帰加盟)

1986 年控訴裁判所は下級裁判所の判決を覆し、カリフォルニア州最高裁は、米国連邦最高裁判所へ控訴、1987 年 5 月 4 日米国最高裁判所はロータリークラブが「業務目的」を有するとともに、色々な面で公衆(参加)型の団体組織であると指摘し、従って、この判決は、女性が同様の「公衆の施設」の規則を有する管轄区域内のロータリアンになることを許すものでした。RI 定款の変更が性別を理由に女性を会員として拒否することはできないという判決を下し、女性の入会が認められることになったのです。1989 年の規定審議会で行われ、すべてのロータリーで「男性に限る」の条項を削除することが票決されたのです。それ以来、女性は全世界のクラブ および地区の会員、リーダーとなっています。